

# 第1回 長岡ホノルル日米友好記念事業委員会

日時：平成26年8月2日(土)午前11時～正午  
会場：長岡グランドホテル 4階 蒼柴の間

## 1. 開会あいさつ

長岡委員長      長岡市長 森 民夫      (趣旨説明)  
ホノルル委員長      ホノルル市長      カーク・コールドウェル

## 2. 顧問・委員等の紹介

## 3. 議題

(1) コンセプトと全体構想等について      【資料 NO 1、NO 2】

(2) 現時点で想定される事業(案)について      【資料 NO 3】

## 4. 意見交換

## 5. 今後の主な予定について

- (1) 長岡委員会(幹事会)の開催【市民参加型事業の検討など】
- (2) ホノルル委員会の開催
- (3) 第2回委員会の開催
- (4) 長岡事業開催 2015. 8. 1～8. 3(予定)
- (5) ホノルル開催事業 2015. 8. 13～8. 15(予定)

## 6. その他

長岡ホノルル日米友好記念事業委員会名簿（長岡）

別紙

【委員会メンバー】

職名	氏名	所属団体・役職等	備考
委員長	森 民夫	長岡市長	
名誉顧問	東久邇信彦	日米友好の架け橋実行委員会名誉顧問	
顧問	谷内正太郎 今井 敬 藤崎 一郎 半藤 一利 工藤美代子 櫻井よし子 山本源太郎	国家安全保障局長、元外務省事務次官 新日鐵住金(株)名誉会長、元経団連会長 (一社)日米協会会長、全国日米協会連合会長、前：在米国特命全権大使 作家 作家 ジャーナリスト 山本五十六元帥の御子孫	
委員	丸山 勝総 丸山 智 稲田 育彦 原 和彦 二澤 和夫 豊口 協 荒城 哲 小田 敏三 反町 和夫 鷲頭満里子 市村 輝男 鷲尾 達雄 神林 茂 樋熊 隆治 樋口 勝博	長岡市議会議長 長岡商工会議所会頭 長岡地域商工会連合理事（幹事） (公財)長岡市国際交流協会理事長 (一社)長岡観光コンベンション協会会長 公立大学法人長岡造形大学理事長 (株)北越銀行頭取 新潟日報社代表取締役社長 新潟県立長岡高等学校同窓会長 国際ソロプチミスト長岡会長 (公財)長岡市スポーツ協会会長 長岡市小中学校PTA連合会会長 (公財)長岡市芸術文化振興財団専務理事 NPO法人ながおか未来創造ネットワーク副代表理事 復興10年フェニックスプロジェクト推進会議座長	市議会代表 長岡の経済界代表 合併地域の経済界代表 国際交流 観光交流・PR ハワイ大学との交流 金融業界代表 マスコミ 山本五十六の母校同窓会 国際交流支援団体 スポーツ団体 教育関係者 市民文化交流 市民協働 NPO関係者
監事	澤 秀一郎 山村 雅隆	長岡の歴史を伝える会代表 長岡商工会議所専務理事	

【幹事会メンバー】

幹事	高野 克広 河村 正美 稲川 明雄 若木 仁 星 貴 佐田 直人 大井 盛久 畠山 徳雄 藤井 芳 石田 章 戸川 則夫 渡辺 千雅 鈴木 正行 佐藤 伸吉 広瀬 弘之	(公財)長岡市国際交流協会専務理事 公立大学法人長岡造形大学副理事長 河井継之助記念館館長 長岡戦災資料館館長 長岡戦災資料館・山本五十六記念館展示員 (一社)長岡青年会議所理事長 長岡市シティプロモーション推進会議幹事長 長岡アロハクラブ会長 長岡まつり実行委員長 NPO法人復興支援ネットワーク・フェニックス副代表理事 長岡商工会議所青年部会長 長岡フィルムコミッション会長 (一社)長岡観光コンベンション協会事務局長 長岡市教育委員会教育部長 長岡市市民部長	
----	--	--	--

長岡ホノルル日米友好記念事業委員会名簿（ホノルル）

別紙

職名	氏名	所属団体・役職等	備考
委員長	カーク・コールドウェル	ホノルル市長	
名誉顧問	ハリー・ハリス ジョージ・アリヨシ 重枝 豊英	米太平洋艦隊司令官 元ハワイ州知事 在ホノルル日本国総領事	
顧問	リチャードL・ウィリアム ダニエル・ディネル ポール・デュブレイ ジーン・カリワッグ 治福 司	米国海軍大佐 ハワイ日米協会会長 国立公園局管理局長 太平洋歴史公園協会理事長 ホノルルフェスティバル財団理事長	
委員	エドウィン・ホーキンス D. J. ホルダーマン ジョルジット・デーマー リンダ・C・タカヤマ ポール・ハインツ 浅沼 正和 ウェイン・イシハラ キャロル・ハヤシノ リカ・ヒラタ ドナルド・ヤネル ジェフ・ホワイト	ハワイ日米協会理事長 米国海軍大佐 ホノルル市 副助役 ホノルル市 経済部長 ハワイ州教育長 ハワイ日米協会理事 ホノルル日本人商工会議所会頭 ハワイ日本文化センター理事長 ハワイ日系人連合協会会長 ホノルルフェスティバル財団副理事長 ハワイ大学教授	
監事	スティーブン・カアア	ホノルルフェスティバル財団財務役	
事務局	星野 明夫 ジョン・チャン	ホノルルフェスティバル財団事務局長 ホノルル市 地域担当専門官	

## ■ 趣旨

長岡市とホノルル市は、歴史的な関係を相互に理解し、これまで様々な交流を続けてきた。その成果を踏まえて、太平洋戦争終結から 70 年を迎える 2015 年に、長岡市とホノルル市が共同し、次の世代を担う青少年を中心とした記念事業を開催する。

## ■ 組織 ※名簿は別紙のとおり

1. 委員会名称：「長岡ホノルル日米友好記念事業委員会」
2. 長岡市及びホノルル市にそれぞれ委員会を設置する。市長が委員長。
3. 2014 年度～2015 年度 2 年間の期間限定の組織

## ■ コンセプト 「未来志向」

「未来志向」をコンセプトに、両市の関係強化、平和と日米友好の発展に資する。

## ■ 全体構想

1. 長岡とホノルルの次の世代を担う青少年を中心とした取り組み。
2. 長岡とホノルルの両市民が参加し、平和への願いや想いをこめて、共に実施。

## ■ 基本的事項

### 【実施体制】

- ・長岡市とホノルル市が共同で実施する。
- ・様々な関係機関や民間企業の理解と協力をいただき実施する。

### 【実施事業内容】

- ・より多くの長岡市民、ホノルル市民の理解と参加を得られる取り組みとする。
- ・姉妹都市交流で育んできた平和教育交流をさらに強化する。
- ・長岡市、ホノルル市がもつ地域資源や強みを生かす。

## ■ 現時点で想定される事業（案）について

### 1. 青少年平和交流ワークショップ in 長岡

ホノルル市の青少年を長岡に招致し、長岡市の青少年と一緒に長岡の歴史や文化を学んだり平和関連事業への参加など、サミットでの宣言に向けたワークショップを行う。

### 2. 青少年平和サミット in ホノルル

両市の中学生、高校生等を対象に歴史・文化を学びながら、ワークショップを開催し、平和サミット宣言を作成し、最終日に市長や総領事に提出する。

### 3. パールハーバービジターセンター、長岡戦災資料館、山本五十六記念館 3館合同シンポジウム in ホノルル

それぞれの記念館や資料館が取り組んできた活動をもとに、次の世代を担う子どもたちに、歴史や平和の大切さをどう伝えていくかをテーマにシンポジウム等を行う。

### 4. 長岡造形大学とハワイ大学との交流事業

ハワイ大学と長岡造形大学の相互交流に関する覚書の調印や、長岡で実施している「こどもものづくり大学校」を、ホノルルの子供たち対象に開催する。

### 5. 市民参加型事業

市民が主体となり、文化やスポーツなどを通じ、両市民の相互理解と交流を深める参加型の事業を募集する。

### 6. 真珠湾での長岡花火を打上げる

真珠湾米軍基地内において、記念事業の最後を締めくくる事業として、慰霊と世界平和を祈る長岡花火打ち上げ。

## 【長岡市・ホノルル市 共同発表】

### 第1回長岡ホノルル日米友好記念事業委員会

- 1 終戦70年を迎える来年8月に向け、戦争の痛みを知る長岡市とホノルル市の両市が共同し、平和記念事業に着手します。
- 2 「未来志向」をコンセプトに、長岡、ホノルルの次代を担う子どもたちが、ともにひとつになって平和への希望を届ける記念事業とします。
- 3 長岡市民とホノルル市民が相互に理解を深め、市民とともに創り上げる新たな姉妹都市交流事業とします。
- 4 慰霊と平和への願いを込めた「長岡花火」を、来年8月に真珠湾で打ち上げることを目標とし、両市が互いに最大限の努力をしていきます。

2014年8月2日

長岡市長 森 民夫

ホノルル市長 カーク・コールドウェル

## 【長岡市・ホノルル市 共同発表】

### 第1回長岡ホノルル日米友好記念事業委員会

- 1 終戦70年を迎える来年8月に向け、戦争の痛みを知る長岡市とホノルル市の両市が共同し、平和記念事業に着手します。
- 2 「未来志向」をコンセプトに、長岡、ホノルルの次の世代を担う子どもたちが、ともにひとつになって平和への希望を届ける記念事業とします。
- 3 長岡市民とホノルル市民が相互に理解を深め、市民とともに創り上げる新たな姉妹都市交流事業とします。
- 4 慰霊と復興、平和への願いを込めた「長岡花火」を来年8月に真珠湾で打ち上げることを目指し、両市が互いに努力をしていきます。

2014年8月2日

長岡市

ホノルル市・郡



森 民 夫  
長岡市長



カーク・コールドウェル  
ホノルル市長



**The Joint Mission Statement by  
the City of Nagaoka and the City and County of Honolulu**

**The first Committee of the Nagaoka-Honolulu Commemorative Project for  
Japan-U.S.A Friendship**

1. Having both experienced the misery of war, the City of Nagaoka and the City and County of Honolulu will come together to conduct the commemorative project for the pursuit of peace to be completed by August of 2015, which will mark the 70<sup>th</sup> year since the end of the Pacific War.
  
2. With the future in mind, our cities will conduct the commemorative project in which the children of Nagaoka and Honolulu, who will play leading roles in the future, can come together to deliver the hope for peace.
  
3. The citizens of Nagaoka and Honolulu will deepen their mutual understanding and unite in creating this commemorative project as a new Sister City exchange project.
  
4. Aiming to display Nagaoka's fireworks in memory of war victims and for the pursuit of peace in Pearl Harbor in August of 2015, our cities will support each other to make every possible effort to actualize the event.

August 2<sup>nd</sup>, 2014

The City of Nagaoka

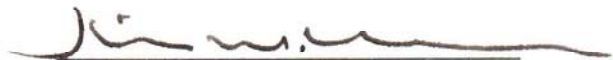
The City and County of Honolulu



Tamio Mori

Mayor

The City of Nagaoka



Kirk Caldwell

Mayor

The City and County of Honolulu